

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)中央消防署新築工事	階数	地上3階
建設地	大阪府和泉市はつが野一丁目51番	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域,宅地造	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2018年2月6日
敷地面積	5,789 m ²	作成者	伯耆靖裕
建築面積	1,142 m ²	確認日	2018年2月6日
延床面積	2,225 m ²	確認者	浪江明弘



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 86% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 85%

④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

音環境	2.6
温熱環境	3.2
光・視環境	2.8
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	3.1
耐用性	3.5
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.1
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

水資源	3.8
非再生材料の	3.6
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.5
地域環境	3.1
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境に配慮した騒音・振動対策 空調システムの採用 	<ul style="list-style-type: none"> 自然換気重視の
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 内装材はF☆☆☆☆もしくは規制対象外を使用している。 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている。
<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 敷地周辺には緑地を設け,当計画において連続性のある緑化計画を行いよりよい街並みを目指す。 	
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> 空調・換気設備機器は効率の高いシステムを採用 照明器具はLEDや高効率の蛍光灯を採用 自然エネルギーの利用による太陽光発電の採用 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 主要水栓や衛生機器は節水型機器を採用
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 空調機器や換気機器の騒音・振動の抑制を図る。 廃棄物の保管,集積の悪臭防止(ごみ置場設置)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0141

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)中央消防署新築工事					
	建設地	和泉市はつが野一丁目51番1					
	用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体 住戸・宿泊	5.0	4
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.1	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.8	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				